

# 冬期に流行しやすい感染症について

## 感染性胃腸炎（嘔吐下痢症）

◎ウイルスが変異して、今シーズンも集団感染が起こっております。

病原体 : 主としてノロウイルス、ロタウイルス

潜伏期間 : 24～48時間

主症状 : 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱（軽度）など

時期 : 1年を通して発生はみられるが、12月～翌年1月がピーク

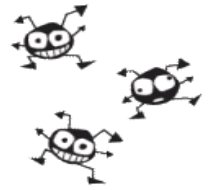
感染経路 : 飛沫感染、接触感染、経口感染、食品を介して感染（ノロウイルスは二枚貝など）

※特に注意が必要なものが、嘔吐物やふん便からの感染である。

予防方法 : 手洗い、うがい、マスク、二枚貝（カキなど）はしっかり加熱して食べる、嘔吐・下痢などの処理は塩素系消毒をする

備考 : お子様に嘔吐や下痢などの症状がある場合は、病院受診をして早め

の休養をとりましょう。



≪処理方法≫ ※処理は少人数で行います。

- (1) 窓を開け、換気をする。
- (2) 使い捨てマスク、手袋、エプロンをつける。
- (3) ペーパータオル等を上からかぶせ、外側から内側に向けて素早くふきとる。
- (4) ふきとった床を塩素系消毒剤で浸したペーパータオルでおおい10分待ち、ふきとる。
- (5) 使用したマスクや手袋などをビニール袋にまとめ、塩素系消毒剤を入れて捨てる。
- (6) 手洗いをする。



≪塩素系消毒剤の作り方≫

500mLのペットボトルに、ペットボトルのキャップ分の次亜塩素酸ナトリウム（市販のキッチンハイター）を2杯入れる。

裏面もご覧ください。

# インフルエンザ

◎毎年流行するインフルエンザ、今年も注意が必要です。

病原体 : 主としてインフルエンザA型、B型

潜伏期間 : 平均2日(1~4日)

主症状 : 高熱(39~40度)、頭痛、悪寒、咳、鼻汁、筋肉痛、関節痛 など

時期 : 毎年12月~翌年3月頃にかけて流行

感染経路 : 飛沫感染、接触感染、

予防方法 : 手洗い、うがい、マスク、外出を控える、



備考 : 出席停止期間は、

発症後5日が経過し、熱が下がった後2日が経過するまで

※熱が下がった日によって、出席停止日が延長されていきます。

## 保護者の皆様へお願い

- (1) ご家庭での朝の健康観察をお願いします。体調が悪いようであれば検温をし、平熱より高い場合や咳がひどい・頭痛・吐き気・腹痛・下痢がひどい等の症状がある場合は、ご家庭での早めの休養をお願いします。
- (2) 登校後に、突然の高熱や腹痛などの症状が出る場合があります。学校から連絡がありましたら、速やかに迎えに来ていただきますようご協力ください。  
(学校では安全面に配慮して、子ども一人だけでは帰さないようにしています。)
- (3) 保健アンケートに記載していただいております緊急連絡先では連絡がつかない際は、連絡先が分かるように連絡帳等にメモをして担任までご連絡ください。
- (4) 急な発熱、嘔吐や下痢などの症状で感染症を疑う場合は医療機関を受診し、医師の指示に従うようにしてください。  
※診断を受けた場合は、必ず学校への連絡をお願いします。
- (5) 容態が急変することもございますので、お子様が一人で自宅療養することがありませんよう、十分なお配慮をお願いします。



参考 : 「学校において予防すべき感染症の解説」文部科学省、2013、  
「インフルエンザ及びノロウイルスについて」国立感染症研究所HP